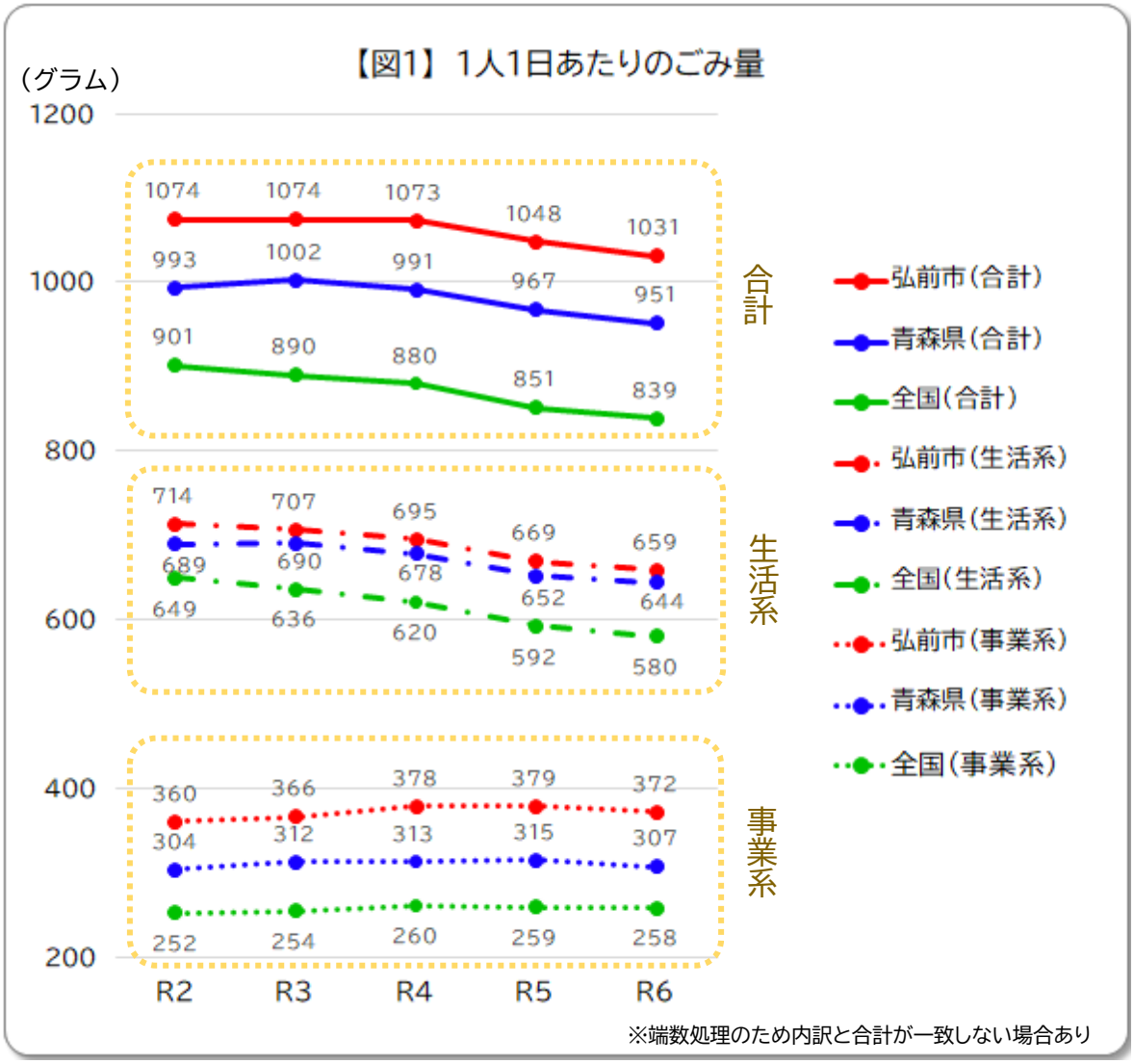
資料１

ごみ処理の状況

１　市民１人１日当たりごみ排出量

・令和６年度一般廃棄物処理事業実態調査の結果（令和８年３月環境省公表）
・令和６年度の一般廃棄物の総排出量を令和６年１０月１日現在の人口（住民基本台帳）で除し、１日当たりの排出量を算出したものを比較。
・総排出量は生活系ごみ、事業系ごみ、集団回収の合計で、以下では集団回収を生活系ごみに含める。

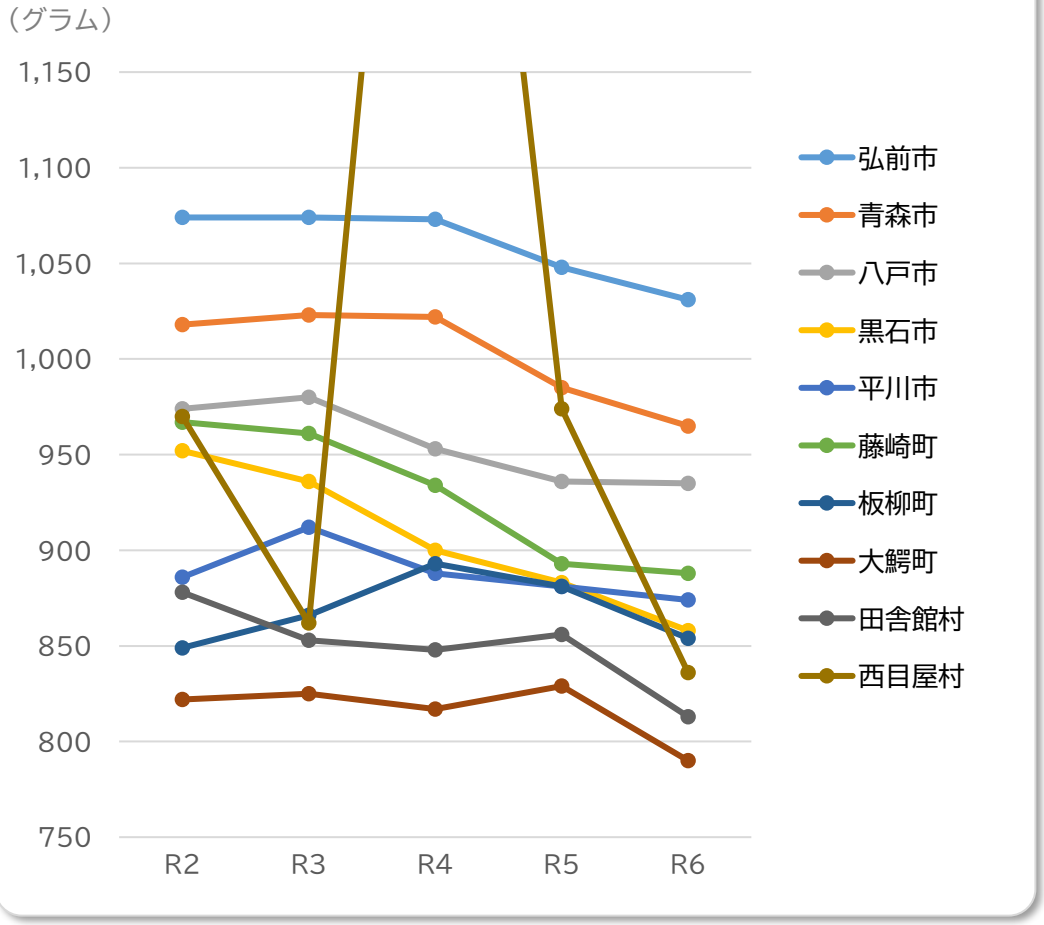
①　全国、県平均との比較



・合計は前年度から 17ｇ減少。生活系が 10ｇ減少し、事業系が 7ｇ減少。
・県内 40 市町村中の順位は、合計が 33 位（前年度と同じ）、生活系が 18 位（同 20 位）、事業系が 35 位（前年度と同じ）。

② 弘前圏域市町村、青森市、八戸市との比較（生活系＋事業系）

【図2】 1人1日あたりのごみ量

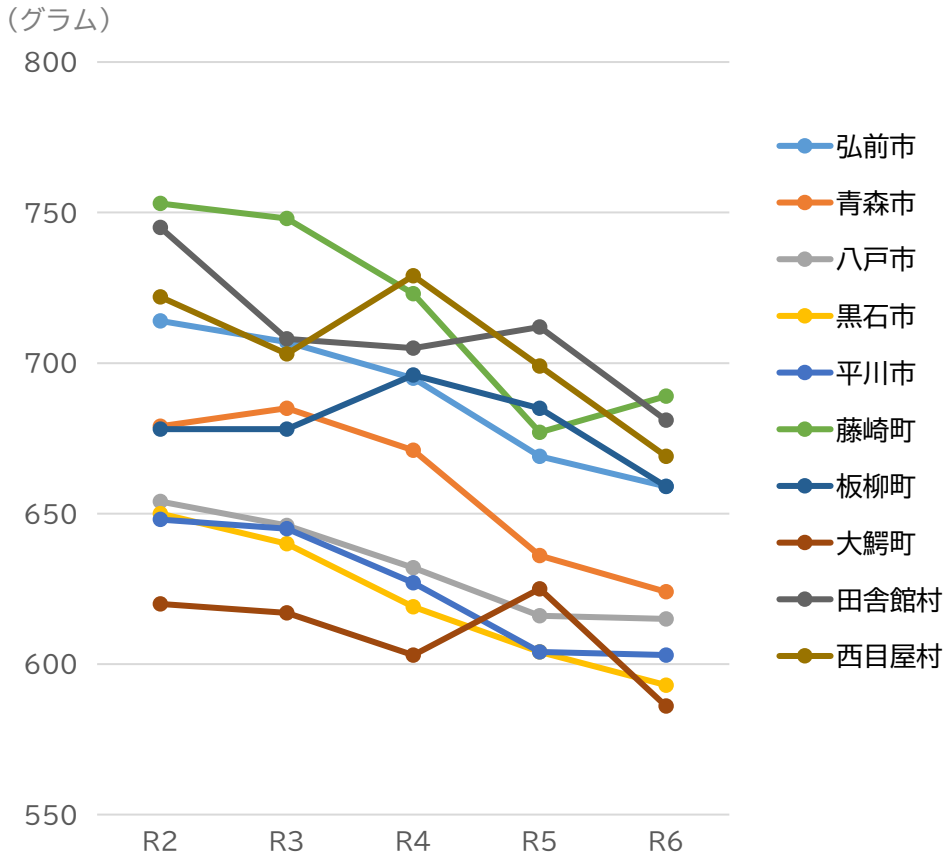


	R2	R3	R4	R5	R6
弘前市	1,074	1,074	1,073	1,048	1,031
青森市	1,018	1,023	1,022	985	965
八戸市	974	980	953	936	935
黒石市	952	936	900	883	858
平川市	886	912	888	881	874
藤崎町	967	961	934	893	888
板柳町	849	866	893	881	854
大鰐町	822	825	817	829	790
田舎館村	878	853	848	856	813
西目屋村	970	862	1,553	974	836

・令和５年度比は、全体的に減少傾向である。
・令和４年度の西目屋村の急激な伸びは大雨に関連する廃棄物。

③　弘前圏域市町村、青森市、八戸市との比較（生活系）

【図3】1人1日あたりのごみ量

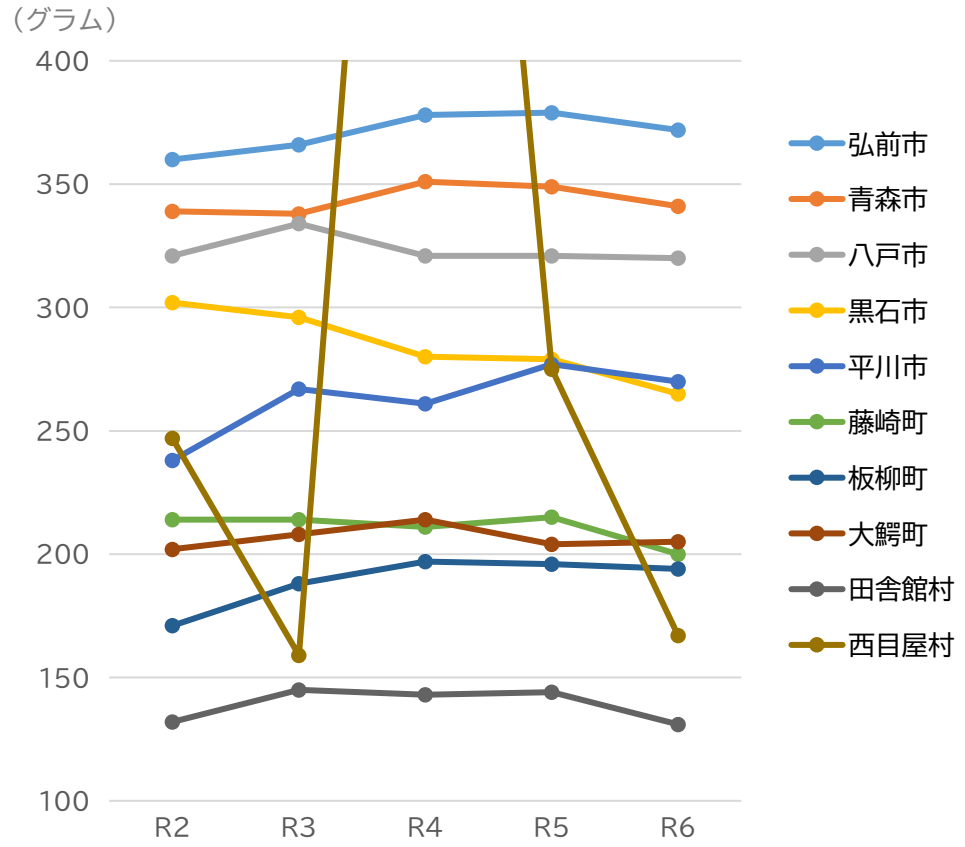


	R2	R3	R4	R5	R6
弘前市	714	707	695	669	659
青森市	679	685	671	636	624
八戸市	654	646	632	616	615
黒石市	650	640	619	604	593
平川市	648	645	627	604	603
藤崎町	753	748	723	677	689
板柳町	678	678	696	685	659
大鰐町	620	617	603	625	586
田舎館村	745	708	705	712	681
西目屋村	722	703	729	699	669

・令和５年度比は、全体的に減少傾向である。

④　弘前圏域市町村、青森市、八戸市との比較（事業系）

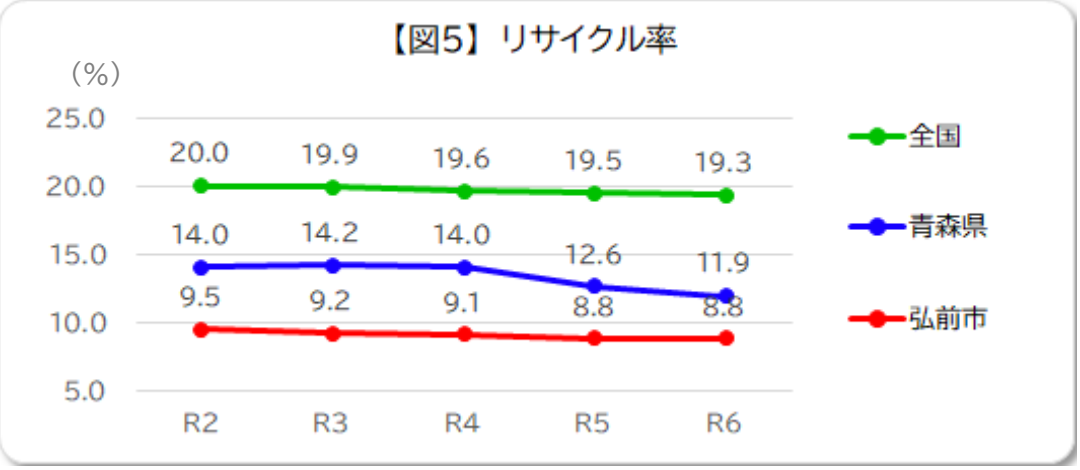
【図4】1人1日あたりのごみ量

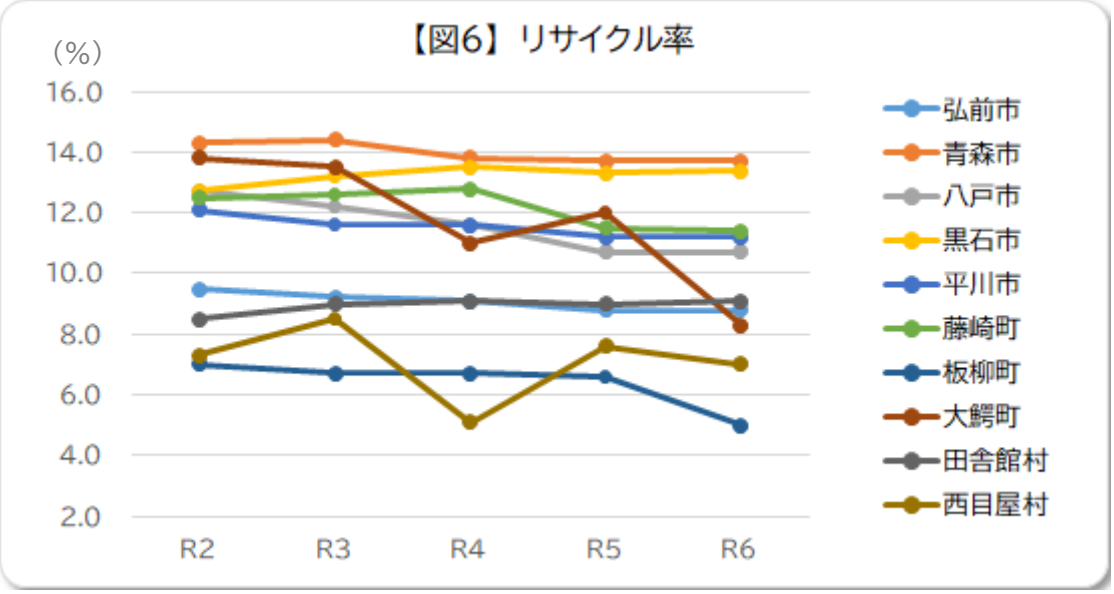


	R2	R3	R4	R5	R6
弘前市	360	366	378	379	372
青森市	339	338	351	349	341
八戸市	321	334	321	321	320
黒石市	302	296	280	279	265
平川市	238	267	261	277	270
藤崎町	214	214	211	215	200
板柳町	171	188	197	196	194
大鰐町	202	208	214	204	205
田舎館村	132	145	143	144	131
西目屋村	247	159	824	275	167

・令和４年度の西目屋村（災害によるごみ）を除き、おおむね横ばいである。

2　リサイクル率について





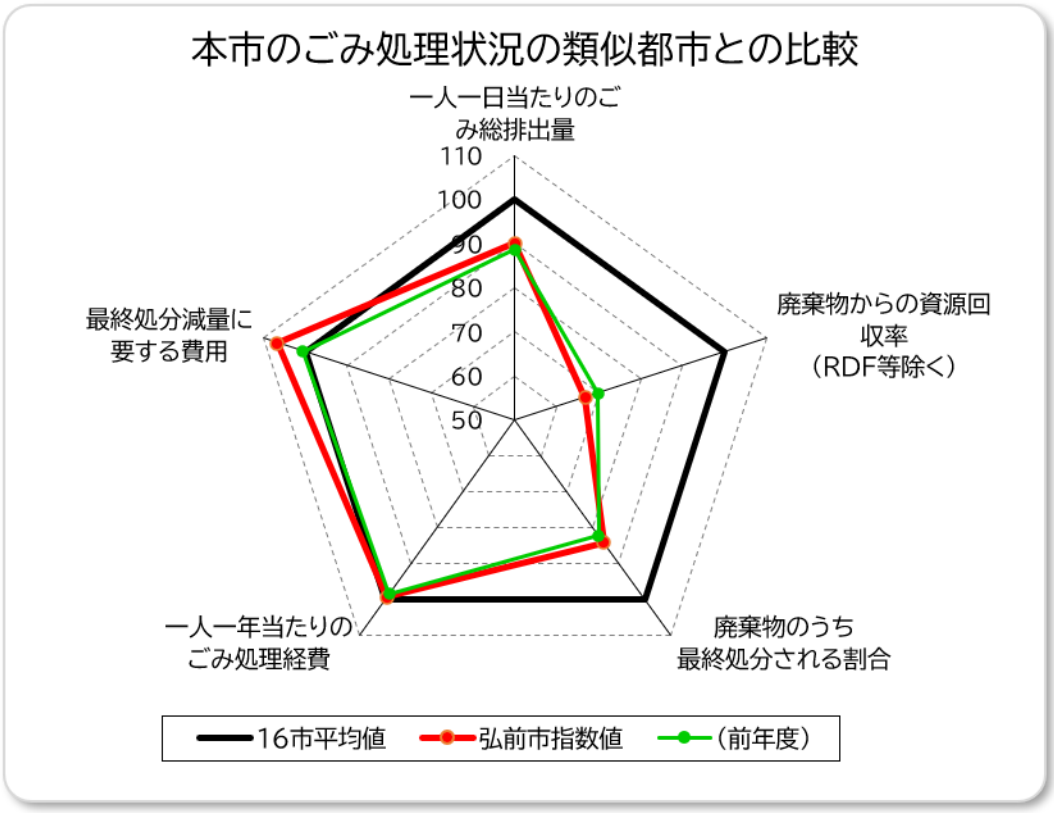
	R2	R3	R4	R5	R6
弘前市	9.5	9.2	9.1	8.8	8.8
青森市	14.3	14.4	13.8	13.7	13.7
八戸市	12.7	12.2	11.6	10.7	10.7
黒石市	12.7	13.2	13.5	13.3	13.4
平川市	12.1	11.6	11.6	11.2	11.2
藤崎町	12.5	12.6	12.8	11.5	11.4
板柳町	7.0	6.7	6.7	6.6	5.0
大鰐町	13.8	13.5	11.0	12.0	8.3
田舎館村	8.5	9.0	9.1	9.0	9.1
西目屋村	7.3	8.5	5.1	7.6	7.0

・令和５年度比は、概ね減少傾向。

３　市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツールによる比較（抜粋）

○　当市を含む類似都市の比較

（人口 11 万人以上 22 万人未満、第２次・第３次産業人口比率が 95%未満、第３次産業人口比率が 55%以上）



※グラフの数値は指数化したもので、平均 100（黒い線）であり、外側が優れている状態
※前年度については比較都市が同一ではないため参考値とする。

標準的な指標	１人１日当たりのごみ総排出量（g/人･日）	廃棄物からの資源回収率（RDF 等除く）（t/t）	廃棄物のうち最終処分される割合（t/t）	１人当たり年間処理経費（円/人･年）	最終処分減量に要する費用（円/t）
平均	937	0.132	0.102	14,819	45,968
弘前市実績	1,031	0.088	0.118	14,889	42,931
指数値	90.0	66.7	84.3	99.5	106.6

補足指標	排出形態別単位排出量		
	１人１日当たり事業系排出量（g/人･日）	従業者１人１日当たり事業系排出量（g/人･日）	１事業所当たり事業系排出量（kg/事業所･日）
平均	296	624	5,752
弘前市実績	372	746	6,937
指数	74.3	80.4	79.4

補足指標	１人１日当たり生活系ごみ種別排出量				
	可燃ごみ（g/人･日）	不燃ごみ（g/人･日）	資源ごみ（g/人･日）	その他（g/人･日）	粗大（g/人･日）
平均	505	31	67	2	14
弘前市実績	527	19	64	1	33
指数	95.6	138.7	104.5	150.0	△35.7

・最終処分減量に要する費用が平均より少ない（優れている）
・１人当たり年間処理経費は平均とほぼ同じ。
・「１人１日当たりごみ総排出量」が多く、「廃棄物からの資源回収率」が低く、さらに「廃棄物のうち最終処分される割合」が高い。
・事業系ごみに関する指標は、いずれも平均より劣っている。
・「１人１日当たり生活系ごみ種別排出量」の内訳を見ると、粗大ごみの排出量が平均の３倍近い量となっている。

４　弘前市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況

項目＼年度	H30（基準値）	R6	R7（目標値）	目標との差
１人１日当たりのごみ排出量(g)	1,142	1,031	950	▲81
家庭系ごみ(g)	724	659	670	11
事業系ごみ(g)	419	372	280	▲92
リサイクル率(%)	9.5	8.8	－	－
実質リサイクル率(%)	29.5	30.9	34.0	▲3.1
１人１日当たりの最終処分量(g)	138	121	100	▲21

令和６年度実績では、基本計画に定める令和７年度の目標値との差は、１人１日当たりのごみ排出量で 81ｇ（前年度 98ｇ）、実質リサイクル率で 3.1%（前年度 3.1%）、１人１日当たりの最終処分量で 21ｇ（前年度 25ｇ）となっており、市民１人１日当たりのごみ排出量は、前年度 1,048ｇから 17ｇ減少し、1,031ｇとなった。

内訳を見ると、家庭系ごみは前年度 669ｇから 10ｇ減少し、659ｇとなっており、令和６年度と同様に目標値を上回った。

一方の事業系ごみは、前年度 379ｇから 7ｇ減少したものの、目標値まで 92ｇとなっている。

目標達成に向けては、特に事業系ごみの排出抑制が必要であることから、これまでに引き続き、事業者を対象に古紙を無料回収する「オフィス町内会」への加

入促進を図る。

　また、近年の問い合わせ状況を考慮すると、本来産業廃棄物として処理しなければならないものが、一般廃棄物を装って搬入されているケースが見られることから、県や弘前地区環境整備事務組合と連携し、産業廃棄物の不適正処理を防ぐ手立てを講じる必要がある。